

ふるさと再発見①⑥

群馬の世界遺産「富岡製糸場」関連 群馬で最も著名な養蚕指導者 馬場重久



「蚕養育手鑑」
群馬県立図書館所蔵



馬場重久
吉岡郷土かるた



桑品種「陣場」
群馬県蚕糸技術センター所有

江戸時代の中頃。わが町の馬場重久(1663-1735)は、医業の傍ら養蚕技術の改良普及に努めました。そして、改良した技術をまとめた「蚕養育手鑑」(正徳2年)を江戸で出版しました。

繭を作るまでに脱皮を繰り返す蚕は4回休眠します。「獅子休」「竹休」「舟休」「庭休」

その休眠の間の成長期を5齢期にわけ、飼育方法を詳しく説明しています。

享年(きょうほ)享保20年1月16日 73歳没
通称は三太夫

日本で2番目に出版された
「蚕養育手鑑」

内容の抜粋

- ◎『太子曰く、蚕の掃きたては吉日を選び、戌亥の方の蚕神に繭餅を供え、お神酒を捧げ祭りなさい。』
 - ◎『庭休みは、風通しをよくして薄くせよ。桑を絶やさず焚火をして温かくせよ。』
- 桑の品種「陣場」も重久が県内で最初に品種改良したものです。

編集後記

「思えばいと疾し この年月」先日の中学の卒業式で歌った仰げば尊しの一節です。

早いもので、東日本大震災から4年がたちました。また議員となり議会だよりの編集委員としても4年が過ぎようとしています。

議会も昨年、政治倫理条例を、今議会では議会基本条例を制定しました。これからも町民に開かれた議会を目指し、また皆さまに愛される議会だよりを編集してまいります。

4年間で愛読いただき誠にありがとうございました。

(飯島 衛)

編集委員

- 委員長 平形 薫
- 副委員長 山畑 祐男
- 委員 馬場 周二
- 委員 宇都宮 敬三
- 委員 岩崎 信幸
- 委員 金谷 重男
- 委員 飯島 衛